

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス にこここパーティ		
○保護者評価実施期間	7年 12月 1日		～ 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日		～ 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま一人ひとりの発達段階に寄り添った、丁寧で共感的な支援	言葉だけではなく表情や行動から思いを受け止める応答的な関わりをおこなっている	支援内容や環境設定の意図をより具体的に伝える機会の充実
2	安心して過ごせる環境設定と、安全に配慮した支援体制	視覚的な手がかりを活用した構造化や、活動と休息の場を分ける空間設定を行い、不安や混乱を軽減できるよう配慮している	非常時対応や安全体制、活動の取り組み状況について、定期的に分かりやすく周知する体制づくり
3	月1回の親子療育を通して家族と共に取り組む支援体制を整え、情報共有や相談対応を通じた信頼関係の構築	親子療育を通じて、家庭での関わり方を共有し、家族支援につなげる取り組みをおこなっている	親子療育の内容や目的をより分かりやすく発信し、家族支援の体系化(ミニ講話・資料提供等)の検討

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の取り組みが十分に周知されていない可能性。	親子療育は実施しているが、プログラムとして体系化・資料化までは至っていない点	月1回の親子療育の内容や目的を整理し、家庭での実践につながる資料や振り返りの工夫を行うこと 親子療育を通じた家族支援の充実と関わり方の共有・学びの機会の体系化 保護者ニーズを踏まえた家族支援の充実
2	地域交流の機会が限定的である点	お子さまの発達段階や安全面を優先していることによる活動範囲の限定	地域とのかかわり方について段階的に検討すること
3	情報発信方法の見直しの必要性	限られた時間での情報共有が中心となり、支援意図や環境設定の工夫が十分に伝わりにくい場合がある	非常時対応や安全体制、活動の取り組み状況について、定期的に分かりやすく周知する体制づくり